

日刊 發行編輯人 川崎文治 本社下町南地 (電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所



刊夕日九十二月十

第一版五頁 第二版五頁 第三版五頁 第四版五頁 第五版五頁 第六版五頁 第七版五頁 第八版五頁 第九版五頁 第十版五頁 第十一版五頁 第十二版五頁 第十三版五頁 第十四版五頁 第十五版五頁 第十六版五頁 第十七版五頁 第十八版五頁 第十九版五頁 第二十版五頁 第二十一版五頁 第二十二版五頁 第二十三版五頁 第二十四版五頁 第二十五版五頁 第二十六版五頁 第二十七版五頁 第二十八版五頁 第二十九版五頁 第三十版五頁 第三十一版五頁 第三十二版五頁 第三十三版五頁 第三十四版五頁 第三十五版五頁 第三十六版五頁 第三十七版五頁 第三十八版五頁 第三十九版五頁 第四十版五頁 第四十一版五頁 第四十二版五頁 第四十三版五頁 第四十四版五頁 第四十五版五頁 第四十六版五頁 第四十七版五頁 第四十八版五頁 第四十九版五頁 第五十版五頁 第五十一版五頁 第五十二版五頁 第五十三版五頁 第五十四版五頁 第五十五版五頁 第五十六版五頁 第五十七版五頁 第五十八版五頁 第五十九版五頁 第六十版五頁 第六十一版五頁 第六十二版五頁 第六十三版五頁 第六十四版五頁 第六十五版五頁 第六十六版五頁 第六十七版五頁 第六十八版五頁 第六十九版五頁 第七十版五頁 第七十一版五頁 第七十二版五頁 第七十三版五頁 第七十四版五頁 第七十五版五頁 第七十六版五頁 第七十七版五頁 第七十八版五頁 第七十九版五頁 第八十版五頁 第八十一版五頁 第八十二版五頁 第八十三版五頁 第八十四版五頁 第八十五版五頁 第八十六版五頁 第八十七版五頁 第八十八版五頁 第八十九版五頁 第九十版五頁 第九十一版五頁 第九十二版五頁 第九十三版五頁 第九十四版五頁 第九十五版五頁 第九十六版五頁 第九十七版五頁 第九十八版五頁 第九十九版五頁 第一百版五頁

常盤毎日新聞
思ふがまゝ
朴烈は正に新附民である。物立松前豫審判事の發表した同事件の聲明書は、正に一字一涙、當世流の言葉である。斯る大逆犯人の寫眞を判事が撮影するなど云ふことは確に手落ちであり、輕卒であるに相違ない、併しその手落ちも輕卒も決して一時の好奇心など云ふ浮いた動機から出發したのでない。唯朴烈をして素直に自白せしめやうと云ふ職務上の熱心が之を敢てせしめたのである。それに今一つの動機

退職を申し出たのである。ところが、此事件を中心として問題は政治上の波瀾を湧起するに至つたので自分若し各方面の人と面會するやうなことがあつてはそれ絡んで心にもない世間の誤解を招く虞れがあることを思つて暫く身を潜めて居つたのである。ところが波紋は日を経るに従つていよいよその穴を加へたが爲めにこゝに身を現はして事件の轉末を公にしたのは同氏としては其責任を明かにし同時に身を處するに於て適當の措置と考へたからであらう

は朴烈は正に新附民である。其新附民が一朝の心得違ひから斯る大それたことを企つるに至つた経路並に其環境などを顧みると同時に其重罪犯人と雖も故郷に在る母を憶ふと云ふ人情美に動かされてそれが職務上の熱心に絡み遂斯る仕儀に立ち至つたのである、勿論苟くも高等教育をも受けた程の者が斯様な事の好い悪い位の判断位は出来ない筈もないが、職務上の熱心と人情美とに刺戟せられて思はず脱線したのであるから、爾後感情の平靜に復すると同時に忽ち昨兆を悔いて其責任を明かにする爲めに自ら

外科

外科一般
耳鼻咽喉科
男性病科
女性病科
×光線科

赤心堂病院
田町 電話四七五番

冬物特價

ニコン 一、〇〇〇
ふとん皮 七五〇
白新モス 七五〇
晒木綿 五〇〇
正絹縞 九五〇
白時雨面ネール 八〇〇
一丈物 一、二〇〇
京都友染モス 一、二〇〇
外に格安品
豊富に取揃ひ候

三井吳服店
平町三丁目電話三十八番

有聲座

十月廿九日替映畫
帝キネ屋派特作
明石緑郎、松枝鶴子主演
大時 左刃縦横情痴
松本泰輔、歌川八重子、杉村千枝子、瀬川銀潮主演
現代 曳かるゝ人 全卷
帝キネ會社代表的最大雄篇
市川百々之助主演
大時 劍難の豫告篇 卷一
高松プロダクション特作品
名優草間實主演
連續大時代劇
月朧ろ天明大難劍 後篇

マキノ關東社傑作
美男市川右太衛門(一人二役仕分) 泉春子主演
恩譽討たるゝ兄弟 卷七
奇談討たるゝ兄弟 卷七

外科

入院應需
上田外科醫院
平町 南町
電話一二九番

原齒科醫院

院長 原精一
副院長 石田仁
東京齒科大學醫學士
平町土橋通り電話三二二番

鳥牛鍋 六拾錢
豚 五拾錢
出前も致します
外御飲物の種々

カフエー松ヶ岡
松ヶ岡公園入口
電話六五二 同二三三番

大特價品提供

綿布 暴落
一足袋四足 九 十 錢
一頭毛無地ネル大巾一丈 一染 九十五 錢
一上等裏地 八十 錢
一上等正絹縞 壹 圓
一友仙モス(尺) 十 錢
一越後節 七圓五十錢

中野吳服店
平三丁目 (電話六十七番)

養生命酒

其偉効眞に神の如く
定價 一圓五十錢、二圓
平町五丁目角 山野邊藥局

横森博士の推奨せる
まむし、し、の、キス

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院
平南町 (電話一七〇番)

博愛病院

平町田町横丁(横内耳鼻科醫院跡)

日本醫學士 河井壽雄
日本醫學士 河原英雄
十七日來任 金澤醫學士 村島耕造
火金曜出張 主任 北村馬次郎

入院の設備あり

盛岡製南部鐵瓶

御用ノ節ハ左ノ方法テ願ヒマス
一、日掛金十錢ヅ、……………(金七圓以内ノ品ハ)
一、日掛金廿錢ヅ、……………(金七圓以上ノ品ハ)
ドナタデモ御來店又ハ葉書デ申込下サレバ即時御届申上マス

南部屋(吉田)
平町南町廿九番地

冬服新荷着

◇新しい品新しい型冬服が澤山揃へました
◇値段は昨年ノ二割乃至一割半安ノ下記の通りです

紺黒サージ	1.78圓位ヨリ
同	2.67圓位マデ
メルトン類	1.5圓位ヨリ
同	2.23圓位マデ
スコッチ類	2.34圓位

詰襟上下組

紺黒サージ	1.1圓位ヨリ
同	2.0圓位マデ
メルトンラッシュ類	14.5圓位

其他種々冬物取揃へました
平 式 なかや洋服店 電話三〇

思ひ出の一つ

小名濱商港建議案

四十八議會當時に……

白井代議士等の提出せるもの

小名濱築港竣工に當つて思ひ出すは四十八議會に提出した小名濱商港に關する建議案である即ち白井代議士は千葉縣選出代議士濱口吉兵衛、吉植庄一郎、鶴澤聰明茨城縣同上小久保喜七小山田信藏、市村貞造、鈴木錠藏其他各府縣代議士七十有餘名の賛成を以て去月廿七日(大正十三年二月)左記の如く小名濱港修築に關する建議案を衆議院に提出したこれも思ひ出の一つである

小名濱港修築に關する建議案
福島縣石城郡小名濱港は東京灣仙臺灣の中間に位置し古昔より常磐海岸唯一の要港にして無盡藏なる

常磐炭田を控へ且其の附近一帶の地方には各種の礦物木材石材薪炭農産物等の産出少からず鐵道は西に本線を横斷する磐越線あり南北を縦貫する常磐海岸線あり後方聯絡の機關既に備はり眞に吞吐港たるの形勢を占む一朝此地の港灣の設備なり海陸交通の連絡完成するに至らんか地方物産の集散するもの極めて大なるべく實に良好なるの價値を發揮すべく大正七年縣は此港をして漁港の修築を起し爾來順調に進捗しつゝありと雖も是れ過ぎずして固より豊富なる物資の運輸に適すべき航洋船の出入に適するものにあらず依つて政府は速かに同港を重要港灣に指定しその修築を完成せられんことを望む右建議す

適策を樹て

漁業の増進に

小名濱築港完成席上

町田農相の告辭

小名濱港の築港完成式當日席上に於て代讀された町田農林大臣の告辭は左の如くである

告辭
小名濱港の築港は全く茲に完成し本日をして盛大に竣工式を舉行せらるゝは全く慶福に耐えざる處なり、近時物與せる海洋業の發展と共に漁業家の出入を安全にし漁業家の生

命並に財産その他を保護するに當り、營業の能率増進を計るは漁港の施設よろこばしき候處多し小名濱港の港勢は前面に天與の漁業を控後方に漁貨の配給をなし一般地方の良港たり、然れ共時勢に應じたる漁業の發展を計らんせば漁船の集合漁貨の集散に依然として舊套境界を以てする時勢に添ふたる所以に非ず茲に於て漁港修築は縣民のひ



家庭欄

ジャムの成分

ジャムの製造について最も密接の關係を有する成分は

有聲座の名畫 名篇に名篇を重ねて續映する有

して可溶性のベクチンとならざるが故に、然しなが

ベクチンであります、ジャムが凝固して膠状を呈する

ら果實が成熟に過ぎると、ベクチンの含有量は減少し

あります。ベクチンは水に容易にとけこれを煮沸すれば

長く煮沸しますと、分解して凝固性を失ひ液状となり

熱の間はベクトロスといふ不溶性の形にて存在し成熟

するに従つてだん／＼分解

去るかも知れない、然れ共諸君よ、私

が此會場の一隅に在つて先

程來諸君の熱辯にふれ、勇

奮禁せざるものあつて此壇

に私の好人物であるかを立

證するに足るものであらう

事肯定して載かねばならぬ

とこんな調子でツンと

氣取つて見せた處が

受けがよさ

そうだ、是れならばヨシと

這般の國民大會に於ける民

衆と警官との對立に依つて

描き出された世期末的な悲

しむべき光景を出現した點

に就いての所感述べたの

聲座にては今週尙又前週より一層の雄辯を上映する事

になつた即ち大時代劇「左

及縦横(情痴篇)」現代大悲

劇「曳かるゝ人」全卷大時

代劇劍難の「豫告篇」其他

前週非常な人氣を得たる草

間實の「月朧ろ天明大難劍」

等加ふるにファン諸氏の非

常に期待してゐる市川右太

衛門一人二役仕分けの恩讐

奇談「討たるゝ兄弟」等實

に見通すべからざる名映畫

揃へであるとの事定めし今

週も前週に劣らざる盛況を

見るであらう

珍らしい居眠り長

乗越し 昨日水戸

乗の證明をもちつて係官に

幾度か感謝の言葉をなげ

居る男があつた右は長野縣

生れ山田某といひ同日午前

の驛までの切符を買つたの

であるが遂に眠りこけてし

まひさうとう上野驛まで乗

越し眼を覺して狼狽し同驛

長から誤乗の證明を貰つた

長野へ引き返すべく乗つた

列車が今度は常磐線なので

水戸まで輸送されて來たも

ののである

して可溶性のベクチンとな

るのであります、然しなが

ら果實が成熟に過ぎると、

ベクチンの含有量は減少し

たします。またベクチンは

容易にとけこれを煮沸すれば

長く煮沸しますと、分解し

て凝固性を失ひ液状となり

熱の間はベクトロスといふ

不溶性の形にて存在し成熟

するに従つてだん／＼分解

するのであります、然しなが

ら果實が成熟に過ぎると、

ベクチンの含有量は減少し

東京第一

總裁の威嚴に

打たれた講習員

川崎文治

講習に集られた諸君は何れも其地方に於ける辯論戰に於ける一騎當萬の強者、悪るく云ひば口から先に生れた様な演説狂捕へ、何事か一寸し た事でも『

諸君！』となつて突ツ立ち上り、拳を揮つてつて口角泡を飛ばす、廿二日からは晝食休憩の一時間を利用して交々演壇を占領し獅子吼する事となつた、丁度其日僕は堀切代議士に交渉社へ

招かれて晝餐の席をばづかじめて居た爲め遂に登壇の機会を失つたのであるが翌廿三日は朝から手ぐすね引いて待つて居た事として、二三の人々が野次の喧騒裡に汗ダクで熱辯を揮つた賦尾に附して壇に登つた、先づ開口一番『諸君、私は磐城平の産である、然るが故に諸君は私を目するに人の悪い男の一言を以つ

冷眼し 去るかも知

れない、然れ共諸君よ、私

が此會場の一隅に在つて先

程來諸君の熱辯にふれ、勇

奮禁せざるものあつて此壇

に私の好人物であるかを立

證するに足るものであらう

事肯定して載かねばならぬ

とこんな調子でツンと

氣取つて見せた處が

受けがよさ

そうだ、是れならばヨシと

這般の國民大會に於ける民

衆と警官との對立に依つて

描き出された世期末的な悲

しむべき光景を出現した點

に就いての所感述べたの

聲座にては今週尙又前週より一層の雄辯を上映する事

になつた即ち大時代劇「左

及縦横(情痴篇)」現代大悲

劇「曳かるゝ人」全卷大時

代劇劍難の「豫告篇」其他

前週非常な人氣を得たる草

間實の「月朧ろ天明大難劍」

等加ふるにファン諸氏の非

常に期待してゐる市川右太

衛門一人二役仕分けの恩讐

奇談「討たるゝ兄弟」等實

に見通すべからざる名映畫

揃へであるとの事定めし今

募集

文藝其他投稿を募集します

の貫録は充分に講習員の氣を強ようせしめて餘りあるものがあつた

分權に 據つて決せねばならぬと微に入り細をうがつて力説せらるゝ總裁

から、短かい朗讀演説であらうと思ひの外、案に相違して一時間半に亘る大雄辯中央集權の時代錯誤なる所以を説かれ今後の政友會の方針は地方

平町人事

▲出生

△攝津小路四保坂龜八郎氏三六郎子